

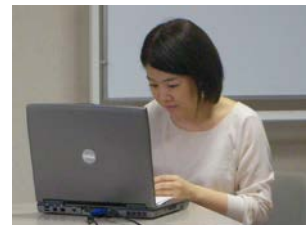
## 【支部報告】

## 大分支部

支部長 房常 朋視(54 回生)

平成26年11月8日(土)に別府市の明礬温泉ホテル「さわやかハートピア明礬」にて大分支部総会を開催いたしました。大分県が単独支部となり、私が支部長を拝命しましたが、ずっと開催できずにいました。今回は大分日赤病院の戸口豊宏技師長(58回生)の全面的なご支援をいただき開催にこぎつけました。感謝いたします。

当日は遠路はるばる、山田勝彦、西谷源展両先生のご臨席を賜り、5時から永嶋しのぶ氏(短9回生)による「大分赤十字病院の施設紹介」の発表と、教育講演として、島津製作所医用機器工場 生産技術課の小山博氏による「FPD 搭載システムにおける最新技術」についてご講演いただきました。大分日赤病院では新棟建設計画や機器の更新など、とてもハードなスケジュールを戸口技師長のもと、課員一丸となって見事に成し遂げられ感服した次第です。またFPDの講演は間接方式と直接方式の利点などを交えた内容で、今後の益々の発展を期待する内容でした。



懇親会では、総勢20人が参加し、大先輩の手嶋健雄先生(34回生)による乾杯で始まり、昔話や近況報告で盛り上がりました。

卒業後両先生に会うのが初めての会員もいて、感慨ひとしお。差し入れの焼酎や清酒がみるみる空いていきました。翌朝は内湯の炭酸水素温泉と露天風呂(乳白色の明礬温泉)共に両先生にお楽しみいただき、10時に解散となりました。今回の総会では短大卒者の活躍も大きく、今後の学友会を担う新たな指標となりそうです。



以上